

News Release



たましん
オリジナルキャラクター **RISURU**
© '24 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L648587

2024年4月25日

たましん中小企業景況調査報告 Vol.196

多摩信用金庫（本店:東京都立川市 理事長:金井雅彦）は、取引先中小企業の景気動向について、四半期ごとに調査を実施しております。今般、2024年2月に実施した調査結果を『多摩けいざい』第108号にて公表しました。

なお、『多摩けいざい』は当金庫各営業店の店頭で配布しているほか、たましん地域経済研究所ホームページ (<https://www.web-tamashin.jp/rire/>) からご覧いただけます。

調査について

1. 調査実施日 2024年1月30日～2月28日
2. 調査方法 調査員による聞き取り調査
3. 調査対象 多摩信用金庫のお取引先 1,059 先
4. 回答先数 1,053 先
5. 回答先内訳 下表のとおり

従業者規模	全業種		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率
1～4人	336	32%	53	17%	26	30%	99	59%	67	28%	42	25%	49	58%
5～9人	207	20%	53	17%	21	24%	30	18%	37	16%	52	31%	14	16%
10～19人	179	17%	79	26%	19	22%	11	7%	25	11%	32	19%	13	15%
20～29人	89	8%	34	11%	5	6%	8	5%	15	6%	21	12%	6	7%
30～39人	58	6%	23	7%	1	1%	8	5%	16	7%	9	5%	1	1%
40～49人	33	3%	15	5%	2	2%	0	0%	9	4%	7	4%	0	0%
50～99人	91	9%	34	11%	7	8%	12	7%	32	14%	5	3%	1	1%
100～	60	6%	16	5%	6	7%	0	0%	35	15%	2	1%	1	1%
合計	1,053	100%	307	100%	87	100%	168	100%	236	100%	170	100%	85	100%

調査結果の概略

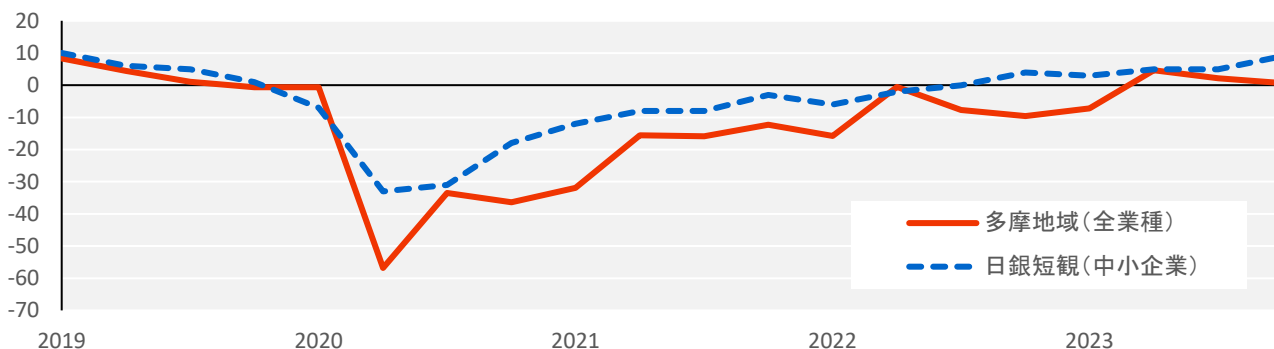
<業況概況>

- 今期の全業種業況DIは、前期より1ポイント下降の0となった。物価高騰や人手不足等の影響が続いていることで、緩やかに景況感は悪化している。
- 業種別に見ると、卸売業と小売業の業況DIは経済活動の正常化が進んだことやインバウンド需要の回復等を要因として、前期より上昇した。一方で、製造業と不動産業の業況DIは前期より下降した。特に、不動産業では不動産価格の上昇などを背景に、業況DIが前期より7ポイント下降し、1年ぶりにマイナス圏に突入した。
- 規模別に見ると、中規模企業が前期より2ポイント上昇の13、小規模企業は前期より3ポイント下降のマイナス12と、小規模企業の景況感が悪化しているため、業況DIの乖離が広がっている。

		2023.9	2023.12	2024.3	変化幅	2024.6 (見通し)	変化幅
全業種	計	2	1	0	-1	4	+4
	中規模	13	11	13	+2	16	+3
	小規模	-8	-9	-12	-3	-8	+4
製造業	計	1	3	0	-3	6	+6
	中規模	8	16	12	-4	19	+7
	小規模	-3	-6	-8	-2	-1	+7
卸売業	計	1	0	3	+3	7	+4
	中規模	8	6	8	+2	15	+7
	小規模	-19	-15	-10	+5	-12	-2
小売業	計	-6	-10	-8	+2	-8	0
	中規模	14	2	15	+13	14	-1
	小規模	-21	-18	-24	-6	-23	+1
サービス業	計	3	-1	-1	0	3	+4
	中規模	10	6	7	+1	11	+4
	小規模	-14	-19	-21	-2	-20	+1
建設業	計	10	9	9	0	12	+3
	中規模	43	37	45	+8	42	-3
	小規模	-1	0	-3	-3	2	+5
不動産業	計	4	5	-2	-7	-3	-1
	中規模	13	13	11	-2	5	-6
	小規模	-3	-2	-12	-10	-9	+3
日銀短観(中小企業)		5	9	7	-2	5	-2

※ 中規模企業：本調査では、製造業・建設業においては従業員20人以上の企業、卸売業・小売業・サービス業・不動産業においては5人以上の企業と定義しています。

<業況DIの推移>



以上